

議会だより

吉富町 

No.60

2 .2022



土屋地区のどんど焼き

土屋区活性化愛好会撮影

CONTENTS

定例議会報告	2	町政を問う(一般質問)	8
議案審議結果表	3	議会報告会	11
常任委員会経過	4	吉富町議員研修報告	12



第4回定例議会報告

令和3年第4回定例町議会は、11月30日から12月14日までの15日間開催されました。

専決処分を求めることについて（令和3年度吉富町一般会計補正予算（第6号））



新型コロナウイルスワクチン追加接種に対応するためのシステム改修及び接種券の印刷に要する経費について、一般会計予算に補正予算の必要が生じましたが、議会を招集する時間的余裕がなく、令和3年11月4日付けで、393万8千円の増額補正を専決処分したので、議会に報告し、承認を求めるもの。

<討論なし>

令和3年度吉富町一般会計補正予算（第7号）について



補正予算の追加 1億1,357万1千円
予算総額 37億4,046万2千円

歳入の主なもの

障害児入所給付費及び入所医療費等負担金（国費）	1,150万7千円
新型コロナウイルスワクチン接種対策費負担金（国費）	1,607万5千円
新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費補助金（国費）	3,009万8千円
前年度繰越金	3,239万5千円

歳出の主なもの

介護給付費・訓練等給付費事業費	1,044万5千円
障害児通所支援事業	2,355万5千円
よしとみ「エコまち」プロジェクト奨励金	30万円
新型コロナウイルス予防接種委託料	1,667万5千円
新型コロナウイルス予防接種業務委託料	1,293万4千円
地方交付税（中学校費）豊前市分	1,119万5千円

繰越明許費

新型コロナウイルスワクチン追加接種事業費	4,617万3千円
----------------------	-----------

<主な討論内容>

反対

岸本議員：太陽光パネル設置事業は気候危機打開の取組に緊急性がある今大義がある。疑問不安はパネルの譲渡後故障や老朽化で使用不能となった時にある。再び石炭火力に戻ったのでは元の木阿弥ではないか。町が推進するのであれば、持続性が求められ、この点で具体的方針が示されていない。これははっきりする必要がある課題であり賛成できない。

賛成

山本議員：今回の奨励金に債務負担行為を設定するなど危惧する部分もある。吉富町は自主財源に乏しく国からの補助メニューなど情報収集を常に行い、町の財政の圧迫にならないように進めていただくとして賛成討論とします。

向野議員：新型コロナウイルス感染症のワクチン接種による効果は、感染者数の減少を見ると、明らかであり今回の補正予算の中にワクチン3回目接種費が計上され、いまだに不安な生活を送る町民の皆様々に安心を与えることができると考えられ賛成します。

横川議員：よしとみ「エコまち」プロジェクト事業は大変評価していますが、懸念があります。1つは事前説明の欠如。もう1つは一般財源から3年間3,600万円を予算化し財政規律が少しゆるくなっています。その点に留意して、今後の町政運営を行っていただきたい。

矢岡議員：2年前、持続可能なという言葉がこの議場で聞くことがないと思いを表したが、今議会では、SDGsの浸透に加速度がついた。また、度々述べているが、本議案も相対的に進取と儉約のバランスのとれた内容だと述べて賛成討論とします。

予

算



令和3年度吉富町一般会計補正予算（第8号）について
補正予算の追加 6,889万2千円
予算総額 38億935万4千円

歳入の主なもの

子育て世帯臨時特別給付金給付事業費補助金（国費） 6,705万円
 子育て世帯臨時特別給付金給付事務費補助金（国費） 184万2千円

歳出の主なもの

電算システム改修委託料 143万円
 子育て世帯臨時特別給付金 6,705万円

※賛成討論 山本議員

予



令和3年度吉富町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について
歳入歳出予算の増額 1,198万2千円
歳入歳出予算の総額 8億3,779万9千円

<討論なし>

算



令和3年度吉富町水道事業会計補正予算（第2号）について
収益的支出の増額 224万1千円
総額 1億3,072万1千円

※賛成討論 山本議員 梅津議員



令和3年度吉富町下水道事業会計補正予算（第3号）について
収益的収入の増額 5万2千円
総額 2億9,036万6千円
収益的支出の増額 51万円
総額 2億7,516万8千円

<討論なし>

条例



吉富町職員定数条例の一部を改正する条例の制定について
 ※賛成討論 山本議員 向野議員

令和3年12月定例会 議案審議結果

（採決が分かれた議案の採決結果）

「○」…賛成 「●」…反対
 「議長」…議長職のため表決に参加しない
 「-」…当日、欠席等により表決に参加しない

区分	議案番号	議案等の名称	審議結果	角畑正数	向野倍吉	中家章智	矢岡匡	山本定生	大田文則	梅津義信	岸本加代子	横川清一	是石利彦	賛成	反対
(R3. 11.30~12.14) 令和3年12月定例会	議案第56号	令和3年度吉富町一般会計補正予算（第7号）について	議決	○	○	○	○	○	○	○	●	○	議長	8	1

委員会経過

(多数の質疑(答弁)、意見から抜粋)

総務文教常任委員会経過

(中家委員長) 12/7 開催

※吉富町職員定数条例の一部を改正する条例の制定について(可決)

質疑 山本委員

町長部局に人数を集約して職員の定数は変えないということですが、足りないのであれば、補充するのが前提ではないかと思うがいかがですか。

答弁 奥本総務財政課長

教育委員会の部局での施設管理の設計や、入札であったり、それらは町長部局で集約し、建設課で行ったりしています。そういう意味も含め、定数条例が現状と乖離していたという認識です。その分について、今回定数の範囲内で町長部局の人数を増やすという状況です。

質疑 山本委員

町長部局の定数を増やすということですが、教育部局、企業部局の定数はそのまま、全体の定数を増やすことはできないのですか。検討はされましたか。

答弁 奥本総務財政課長

増やせるならば全ての枠を増やしたいところですが、まずは、現状の範囲内で、頑張ってみよう。それで難しいならば、議員の皆様へ改めて条例改正を提案させていただくことになると思います。

質疑 山本委員

定数条例を今回変更しますが、4月1日には何人の職員が確保できるのですか。

答弁 奥本総務財政課長

コロナ禍でもあり、非常に職員の事務量も増大

しているという中ですが、行政改革の推進計画で、派遣を除き76名という基準がありました。今回の様な突発的な事案が発生したとき、今の職員でやり繰りするのは大変だという実情があります。今年度の採用試験では定数(81名)いっぱいまで確保することは可能であると考えています。

質疑 横川委員

各課で繁忙期の時期は違うと思いますが、繁忙期にどうしても人員が足りない時の対応はどうされるのですか。

答弁 奥本総務財政課長

ワンチームとして、みんなで協力しながら、必要ときには応援に入ったりしつつ、対応していきたいと思っています。



意見 山本委員

今回の定数条例が職員をフォローできる体制であり、住民サービスが行き届くことを願います。

意見 横川委員

コロナ対応について、職員が一生懸命やっている姿は、たのもしく思います。ただサービス残業があるのではという声も聞かれるので、そのようなことがないように、これからもしっかりと環境整備をしてもらいたいと思います。

福祉産業建設常任委員会経過

(梅津委員長) 12/7 開催

※令和3年度吉富町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について(可決)

質疑 岸本委員

国保会計の基金については、基準があると思うが、それに則して、現在1億3,000万円はどうですか。

答弁 岩井福祉保険課長

基金の使い道は、医療費の支払いに不足が生じたとき、県への納付金の支払いに不足が生じた

ときと決まっています。十分な金額を基金として保有しています。

質疑 岸本委員

健康優良世帯はどういうものか。表彰とは、何をやるのですか。

答弁 岩井福祉保険課長

表彰を受ける条件は、3つで、前年度に医療機関等で診療を受けていないこと、国保税の滞納がないこと、特定健診対象者が世帯にいる場合は、全員が受診していることです。表彰として1世帯当たり1万円の記念品を贈呈しています。

次ページ上段に続く

※令和3年度吉富町水道事業会計補正予算（第2号）について（可決）

質疑 岸本委員

修繕費について、よその自治体で事故があって、それを機会に点検されたということなんです。点検箇所は何か所あるのですか。

答弁 奥家上下水道課長

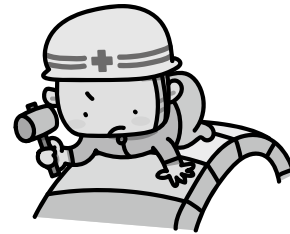
和歌山市で水管橋の崩落事故が発生しました。同じような規模、種類の水管橋は吉富町にはありませんが、橋梁に添架しているものが約10か所、それ以外に水路を単独で渡っているものを含めると、30か所から40か所あります。

質疑 岸本委員

日ごろの点検はどうなのですか。

答弁 奥家上下水道課長

これまで橋梁裏側に添架している箇所については確認ができていませんでした。今後においては計画的に確認を行いながら、必要なものは手立てをしていきたい。



※令和3年度吉富町下水道事業会計補正予算（第3号）について（可決）

質疑、意見なし

予算決算委員会経過

（太田委員長） 12/8 開催

※令和3年度吉富町一般会計補正予算（第7号）について（可決）

質疑 山本委員

債務負担行為補正が3項目計上されていて、1億円くらいになります。財源見込みはあるのですか。

答弁 奥本総務財政課長

財政計画の中で地域活性化の特別枠的なものを1億円ほど確保していますので、その範囲内で対応可能と考えています。

質疑 岸本委員

太陽光パネル設置については、現在単年度予算で補助金を計上して、補正で増額したり減額したりしている。この「エコまち」プロジェクトも単年度予算でいいのではないかと思います。が、（債務負担行為で）3年間予算を確保する特別な意味があるのですか。

答弁 石丸住民課長

この3年間で強く進めていくという町の意志をご理解いただき進めていくために債務負担行為という選択をいたしました。

質疑 岸本委員

「エコまち」プロジェクトは、10数年後のことも考え進める必要がある。太陽光パネルで発電ができなくなり、また石炭火力による電力を使うとなれば、脱炭素地球温暖化防止策という大

義が成り立たなくなる。太陽光パネルが老朽化により使えなくなった後のことについて、対策なり方針があれば聞かせてください。

答弁 石丸住民課長

2050年のカーボンニュートラルを見据えた取組である。シェアリングエネルギー社のパネルは日本国内で最も早く中古太陽光発電装置の買取、販売、リユースなどに取組んだ企業のものであり、キャッチフレーズがいわば太陽光発電のゆりかごから墓場までということで、無造作に廃棄することはどこの企業も考えていない。国もこの技術力で世界のカーボンニュートラルを引っ張っていくという考えである。そういう技術を私どもも理解していきながら考えていかなければいけないと思っております。

質疑 岸本委員

デマンドタクシーについて、近隣自治体の施設や病院まで範囲を延ばすという方針は今、持っていますか。

答弁 石丸住民課長

現在、町内での利用としていますが、まだ町内での利用について改良の余地があると思っております。散髪屋さんやコンビニなどに行きたいというニーズがある。そういうところを改善し、まずは町内で利便性の高い事業としていきたいと考えています。

質疑 岸本委員

司法書士相談委託料について、相談するにあたってのルールはあるのですか。

予算決算委員会経過 つづき

答弁 守口未来まちづくり課長

月に1回、1人1回、基本は30分、1時間ぐらいまでならという話をしています。

質疑 中家委員

町制施行80周年記念事業費で冊子を3,500部作る予定と聞いていますが、現時点で青写真が示せれば説明をお願いします。



答弁 守口未来まちづくり課長

今から練っていくところです。24ページ程でオールカラーでと思っています。掲載内容は、今後、役場全体で考えていきたいと思っています。

質疑 梅津委員

よしとみ「エコまち」プロジェクト奨励金について、従来からある自前で太陽光パネルを設置する方への補助制度の変更はありませんか。また蓄電池への支援については、今後このプロジェクトの中で考えていますか。

答弁 石丸住民課長

来年度からはこちらの奨励金に統合していきたいと考えています。蓄電池につきましても、設置を新たに来年度から設置される方については奨励措置の対象としたいと考えています。

質疑 向野委員

道路や公有地の草刈作業員の増員について、本来住民の方がやるべき場所を行政が必要以上にしないようにするためには、明確なルールが必要だと思うが、そのルールの共有はできていますか。

答弁 和才建設課長

自分たちの町は自分たちできれいにしていただけ気持ちは大切にさせていただくとともに、補うという意味でやっていこうと思っています。今後しっかりその辺の理念を見据えたところで検討していきたいと思っています。

答弁 花畑町長

したくてもできない方や助けなければいけない方がいると思います。その辺は、臨機応変に相手の立場に立って、検討していきたいと思っています。

質疑 中家委員

町は地域脱炭素プロジェクトという先駆的取り組みを行っています。今後公用車を購入する際は電気自動車を買う考えがあればお聞きしたい。

答弁 守口未来まちづくり課長

脱炭素日本一を目指す町でありますので、積極的に購入していかなければならないとは思いますが。

答弁 花畑町長

電気自動車は購入コストが高いため、タイミングを見ながら皆様にも相談をして進めていきたいと思っています。

質疑 山本委員

土木費、住宅管理費に山王団地の白蟻防除の予算が計上されていますが、山王団地はできてどれくらいですか。防除はやっていないのですか。

答弁 岩井福祉保険課長

町営山王団地は、平成25年度から27年度にかけて建設されています。建設をしたときにシロアリの防除工事を行っています。

質疑 向野委員

白蟻防除に関連して、今後想定外の修理費等が発生しますので、修理目的の基金的なものは考えられませんか。

答弁 岩井福祉保険課長

修繕費、施設の維持管理費は、建物が古くなれば古くなるほど高額な維持費がかかります。町営住宅にかかわらず、全ての公共施設にもかかわる問題ですので、十分検討していきたいと思っています。

質疑 太田委員長

よしとみ「エコまち」プロジェクトで、今回屋根貸しで太陽光パネルを設置しますが、パネルに固定資産税はかかりませんか。



【答弁】 別府税務課長

事業として、電気の小売業というところで運営する以上は、当然償却資産として業者に課税されるものと認識しています。

【意見】 山本委員

SDGsというのは、企業がやる場合は、儲けがあるからするのであって、自治体がある場合は、手出しになることがほとんどなので、国からは今後いろいろなメニューが出てくると思います。それを是非活用してほしいと思って賛成討論とします。

【意見】 岸本委員

太陽光発電設置事業に反対ではない。地球温暖化防止に寄与するものだ。心配で、確信が持てないことがある。契約者獲得に成功せず業者が撤退したらどうなるのか。自己所有となったパネルが使えなくなった時、石炭火力による電力を使えば、脱炭素という大義が成り立たない。永続的の事業にする必要がある。抽象的な技術革新への期待でなく、具体策が見えないと確信が持てない。反対というより賛成できない。

【意見】 矢岡委員

2年前に持続可能という言葉で吉富町議会で聞くことがないと危惧を表したが、今議会では、よしとみ「エコまち」プロジェクトをはじめ、SDGsの浸透に加速度がついたと感じている。度々、以前から言っているが、本議案も進取と儉約のバランスのとれた内容だと述べて賛成意見とします。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



【意見】 是石委員

コロナワクチン接種に対する担当者の考え、前倒しも視野に入れているとも聞きました。それを支持します。「エコまち」プロジェクトは国策に沿った取り組みです。新しく起業する経営者を応援します。世界の流れにも沿った取り組みです。これは是非とも成功してもらいたい。以上の観点から賛成します。

※令和3年度吉富町一般会計補正予算（第8号）について（可決）

【質疑】 山本委員

子育て世帯臨時特別給付金は10万円の内5万円をまず町で支給するという事でした。クーポンを5万円分使うことが前提なのか、10万円現金支給をしてもいいのか。それと、職員の業務量がどれだけ生じるのかを聞きたい。

【答弁】 石丸子育て健康課長

昨日の発表では、官房長官は残りの5万円も現金でもいいとなっていますが、確定ではないので何とも言えません。業務量としましては、クーポンをした場合、かなりの時間と労力、それと、業者選定、クーポンの偽造防止等印刷等もありますので、業務量が増えるのは間違いないと考えています。残りの5万円も現金給付にさせていただけると、小さな町としては非常に助かると考えています。

【質疑】 岸本委員

子育て世帯臨時特別給付金には所得制限があったと思うが、支給の対象外になる子どもは町内に何人いますか。

【答弁】 石丸子育て健康課長

今年度の申告にもよりますが、今現在、対象者は10人程度です。

【意見】 山本委員

町の業務量がこの2年間大変多くなっていて、職員たちの疲弊が進んでいます。住民のためにも、もっと違う所に力を拡充してもらいたい。

【意見】 是石委員

同僚議員とまったく同じ意見です。事務量も減らして、事務費も減らしてもらいたいと思います。



梅津 義信 議員

安心安全のまちづくり について

問 ①キグナスの交差点から役場間の県道の歩道設置について。交通量が多い中、歩道がない現状をどのように認識していますか。

答 和才建設課長
行く先には役場、病院、駅などがあるので、歩道が整備されることが最善だと考えています。

問 町民の皆様からの設置に関する声は届いていますか。

答 和才建設課長
いろいろな場面にて「歩道があればいいよね」程度のご意見は耳にすることがあります。

問 道路管理者である県土整備事務所へ設置要望を今後する予定はありますか。

答 和才建設課長
町内数か所で県道工事が進捗中であり、すぐに要望ではなく、まずは投げかけを県のほうへ行っていきたいと考えています。

問 ②キグナスの交差点からスーパー川食間の県道が夜間非常に暗いことについて。夜間非常に暗い現状を認識していますか。

答 和才建設課長
キグナス側からコインランドリーがあるところまでは十分明るさが保たれているとは思いますが、そこから川食の交差点までの間、約30mが暗いこと、また、スーパー川食の閉店時間が早

まったことにより閉店後、その駐車場の沿線も暗くなるということを把握しています。

問 町民の皆様からの街灯設置に関する声は届いていますか。

答 和才建設課長
当該地については、2年ほど前に自治会要望にて、旧渡辺病院跡地の前にLED製の街灯を設置した経緯があります。

問 街灯の設置についての町の考えを伺います。

答 和才建設課長
近年、自治会要望以外にて町民の方々から、どこそこが暗く危険とのご意見をいろいろな場面で頂くことが多くなっており、少し前より町全職員にて手分けをして実際に町内の県道や町道を全線歩いてみての実態調査を実施し結果の集計を行っています。ちなみに、今回ご質問の当該地につきましては、2つの課から実態調査にて、暗く、街灯の設置が必要との調査結果が上がっています。また、現在、町では、より安心、安全なまちづくりに向けて、暗く、防犯上、危険な場所については、積極的に街灯を設置しています。これから当該地はもとより必要と判断される場所については、町にて設置あるいは各自治会長と相談や協議をさせていただき、街灯の設置を進めていきたいと考えています。

意見 防犯対策はもとより、コロナ禍で暗い世相の中、町を暗くしないためにも、街灯の設置について共通の認識を持って取り組んでいけるよう要望します。



山本 定生 議員

児童への交通指導について

問 ①児童への通学などの交通指導と道徳的な方向性について。

全国で信号機のない横断歩道で、歩行者がいるにも関わらず止まらない車が、大体8割ぐらいあると言われていています。長野県では幼少期から交通教育に力を入れており、横断歩道では手を挙げる。止まってくれた車へ必ず御礼を

すると教えているそうです。車からしても子供にありがとうと御礼をされればうれしい。その教育を受けた子供が今度大人になれば、横断歩道で歩行者がいれば停止するのは当たり前との感覚になるのではないのでしょうか。

答 小原教務課長
児童の安全安心を守ることは、教育の根幹であると気を引き締めているところであります。小学校全校集会では、防犯組合、交通指導員、駐在所の警察官により、自転車の乗り方や信号機のない横断歩道の渡り方について指導を行っていただき、その中で信号機のない横断歩道で止まって

山本議員つづき

くれた運転手の方に御礼の気持ちを表すための会釈をしましょうとの話がありました。吉富小学校では信号機のない横断歩道で止まってくれた運転手の方に御礼の会釈をすることを一つの交通ルールと位置づけ、交通指導を行っています。

問 ②自転車における交通ルールと指導について。2017年に道路交通法が改正されて、昔とは交通環境が大きく変わりました。そこで、町の教育現場での指導や取組などについてお聞きします。

答 小原教務課長
小学校では毎年5月に小学1年生と4年生を対象に交通安全教室を開き、基本的な交通ルールの説明と自転車の安全な乗り方について実技指導を行っています。長期休業前や自転車の迷惑運転に関する苦情があれば、全校集会などで指導を

行っています。先日も自転車の右側通行や2人乗りをするなど、他の方に迷惑をかけている子供を見かけることが多くなったことから、学年集会を通して、自転車の交通ルール順守について指導を行ったところであります。日頃から子供たちの安全を献身的に見守っていただいている地域の方々に改めて敬意を表しますとともに、今後も子供たちにとって安全安心な町になるよう、引き続き支援をお願いしたいと思います。

意見 町の宝である子供たちへ心が籠もる教育を行っていただき、住民を代表して御礼をさせていただきます。また、今後も引き続きご指導をお願いします。

※他に3問質問しました。



地球温暖化対策について

問 第3次吉富町地球温暖化対策実行計画の目標に対する進捗状況はどうか。

答 石丸住民課長
町の事務及び事業に関するこの計画は、令和元年度から5年間にわたるもので、平成29年度比5%削減の67万8,013kgにすることを目標としています。令和3年度前期の集計で31万529kgと減少傾向にはあるが、国の目標が引き上げられており、これまで以上の取り組みが必要です。

問 自治体としてできることを進め、住民また他の自治体にも行動を呼びかける「気候非常事態宣言」がある。「脱炭素日本一」をめざす自治体として、この宣言を出すべきではないか。

答 石丸住民課長
前向きに検討するべきと考えます。

生理の貧困対策について

問 生理用品の確保は女性にのみ負担となるもので、SDGs目標5にあるジェンダー平等の観点からいえば、この負担は全体で共有すべきものと言える。この考えに一致できるか。

答 石丸住民課長
そうした動きは把握しています。学校では

困りごとへの相談に繋ぐということからも保健室配布。公共施設での配布については清潔、安心という観点から配布、周知の方法をさらに検討していきたい。

特別障害者手当の現状と今後の取り組みについて

問 特別障害者手当は重度の障害があり常時特別な介護が必要な障害者が対象とし、月額2万7,350円で障害者手帳受給は条件ではない。現在、手当の受給者は何人か。

答 岩井福祉保険課長
8名で全員が障害者手帳を所持しています。

問 対象に該当すると思われる介護保険の要介護4、5で在宅の方は何名か。

答 岩井福祉保険課長
6名です。

問 申請制なので制度を十分に知らせる必要があるかどうか。

答 岩井福祉保険課長
制度を掲載した福祉サービスパンフレットを全戸に配布するとともに、民生委員児童委員や居宅介護サービス事業所へも情報の提供をお願いします。また窓口でもご案内をしています。在宅の介護度4、5の方には介護手当の支給決定通知を送付する際に書面を同封し直接お伝えしたい。

※他に介護保険補足給付制度の改定による影響と対策について質問しました。



矢岡 匡 議員

エデュケーション*について

※能力を導き出すという本来の意味合いから単に教育と訳すより発育の方に主眼を置いている

問 キャリア教育とは、どういう教育で、どう取り組み、狙いは何なのかと伺ってから2年が経過いたしました。令和元年度

から県の指定を受けて研究してきた「子供たちに夢や希望を抱かせる教育」キャリア教育として大切にしてきたこと、成果等について伺います。

答 江崎教育長

教育は、いつの時代であれ、子供たちに夢を抱かせる営みです。この夢を社会や生活に近づけ、学びへとつなげるということがキャリア教育。研究に当たって、子供たちに夢に向かって歩き出す勇気を与えるために自己のよさを認め、自分を価値ある人間として信じて好きになれるということから取り組み、脳が学びたくなる状態に持っていくようにと考えてきた。これらの実践で子供たちは勉強が好きになり、確実に学びへ向かう意欲が高まっているということを先生方は肌で感じている。今後も吉富の子供を一人も取り残すことな

く、さらに自分に自信を持たせ、学ぶこと、何かにチャレンジすること、学校で生活することが楽しいと思う子供の教育を継続し、精力的に取り組んでまいります。

問 社会のつくり手を育むというテーマだったと思いますが、授業の中で、どのような能力を育て、発育すれば社会のつくり手に近づくのでしょうか。

答 江崎教育長

キャリア教育で育てるべき次の4つの能力に焦点を当てて、重点化した授業を心がけてきたところです。一つは、人間関係形成のコミュニケーション能力、2つ目は、前向きに考える力、そして3つ目は、見通しを持った計画立案と実行力、そして4つ目は、学ぶことや働くことの意義や役割の理解、その4つの能力に焦点を当ててまいりました。

意見 社会のつくり手として、誰でもどこでも必要な能力、しかもこれからの変化の激しい予測のつきにくい将来を生き抜く力を授業の中で、しっかり育てていると分かりました。指定が終わってからも、ぜひ子供たちにこのような発育力をつけていてもらいたいと願います。



向野 倍吉 議員

空き家対策について

問 2018年の総務省住宅土地統計調査によると、7戸に1戸が空き家であり、本町でも、前回の調査をもとに取組を行ってきたと聞いています。どのような取組であったか、実績を教えてください。

答 石丸住民課長

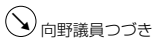
空き家・空き地バンク制度は、これまで物件登録が15件、うち成約が売買で7件、賃貸で3件です。また、登録物件の改修の補助制度と売買、賃貸に係る仲介手数料の補助制度により利用促進を図っているところです。周辺の住環境を悪化させ、放置されている空き家の除却についての補助金制度では、これまで事前調査3件の申請を受け、2件を補助対象と判定し、うち1件について除却が完了して補助金を交付しています。

問 現在も空き家予備軍があると思いますが、この段階で何か方策があると思いますが？又、空き家についての相談はどこにすればよいのですか？

答 石丸住民課長

空き家・空き地バンク等の御相談は住民課でお受けをしています。この制度の周知は、既に空き家や空き地を所有されている方を主にターゲットとして、広報掲載や県外にお住まいで、本町の固定資産税の納税通知をお送りする方に制度のチラシを同封するなどしています。今後は現在居住されている方までターゲットを広げて、高齢者の身近な存在である包括支援センターや社協の協力もお願いし、そのネットワークも活用して、将来の家の活用等について





向野議員つづき
事前にご家族で話し合っていただけのように働きかけたいと考えています。

問 国も空き家解消に動き出しました。2015年に空き家対策特別措置法が施行されています。本町では施行事例はありますか。

答 石丸住民課長
本町では特措法にのっとった措置を取ったことはまだありません。

問 今後どのようにして、本町では空き家解消に向けて取組を行いますか。

答 石丸住民課長
今後も適正に管理されていない空き家は増加していくことが想像されます。今年9月、空き家に関する各課で老朽危険空き家について、対

策をしていくかの協議の場を設けました。関係課が一体となって総合的に取り組むべきとの結論づけを行ったところです。今後、まちづくりの重要な課題として、空き家の活用、除却、予防について、関係課で知恵を出し合って、適切な働きかけが行えるよう努力をしたいと考えています。

意見 家という私有財産は、行政の力ばかり頼るのでは限界が見えています。民間や地域の力が欠かせないと思われ、一人一人が住まいをどのように終活するのか、もっと目を向けて動き出すことが大切ではないでしょうか。今後も防災、減災の面からも、空き家対策に積極的に取り組んでいただきたいと思います。

議会報告会(第7回)報告



本町議会では、昨年11月6日、9日吉富フォーユー会館において、「議会の説明責任、住民の方との対話を通じた信頼関係の構築、それぞれの地域が抱える課題の聴取など町民の皆さんのご意見をいただくこと」により、今後の議会活動に生かし、また、議会運営の改善を図ることを目的として議会報告会を開催し、多くの意見をいただきました。

今回の議会報告会では先ず、議会からの報告（議会の開催状況、一部事務組合報告、政務活動報告）の後、意見交換、自由発信（意見聴取）に対する応答を行いました。

主な質問・意見

- ・山国川のライトアップ事業について、2,000万円もかけなくてはいけないのか？町民がみんな良いと思う事にお金を使ってもらいたい。
- ・蔵屋に抜ける県道工事は何のための道かわけがわからん。それよりも町内の道の拡幅をきちんとやってもらいたい。住みやすい条件を整備することで人口も増えてくる。
- ・A Zホテル前を通る県道を工事している関係で、蔵屋交差点から直江交差点が渋滞する。いつまで工事をするのか。
- ・町内の道路が狭すぎる。継続して拡幅工事をやってもらいたい。
- ・人口を増やす施策についてお聞きします。
- ・大型建設事業について、最近は繰越事業が多いので、発注した工事の工期が標準工期内かどうか精査してもらいたい。工期が足りないと、休日、昼夜を問わず工事を行う。その結果、事故が起こったり、けが人が出たりする。
- ・キグナスの交差点～役場にかけての県道には歩道がないため歩行者が危険である。歩道が設置できないか？
- ・人口が減少してくると、財政が逼迫してくる。人口を増やす施策をやってもらいたい。企業誘致、空き家の活用を行い、人口を増やしてもらいたい。
- ・プレミアム商品券の発売枚数について、前回よりも発売枚数が減った理由はどうしてですか。今回、抽選ではずれた人が多いので、販売方法を考えてもらいたい。
- ・インフルエンザ予防接種について、かかりつけ医でないと予約がとれない病院がある。病院によって予約がとれる、とれないなどの差別はや

めてもらいたい。

- ・小中学校のギガスクール構想とはどういうものですか。タブレットパソコンを導入したら終わりじゃ困ります。今後どのように活用していくのですか。

- ・県道山内吉富線（蔵屋から上毛町に行く路線）の景観事業の歩道に設置した街路灯が明るすぎる。歩いていて、前から自転車が来たら街路灯が邪魔で離合できない。今後は景観面より機能面を優先してもらいたい。

アンケート結果

今回、議会報告会を実施するにあたり、アンケート調査を行い来年度以降も参加したいかの設問を設けました。その結果は次のとおりです。

回答者（26/27）

参加したい	23名（約88%）
（※内、2年に一度参加したい）	4名
参加したくない	0名（約 0%）
どちらともいえない	3名（約 12%）
無回答	0名（約 0%）



その他たくさんのご意見・ご質問等をいただきました。頂いたご意見等は、本町における課題として、また議員の共通認識としてしっかりと受け止めさせていただき、対応について全員協議会で協議を始めています。

終わりにになりましたが、ご参加いただきました方々、開催するにあたりご協力いただきました自治会長さんをはじめ、お手伝いをいただいた関係の方々に御礼申し上げますとともに、この議会報告会を継続実施させていただき、今年よりも来年、来年よりも再来年と、多くの町民の皆さんに足を運んでいただけるよう、議会としても工夫をしていきたいと思っています。

……………吉富町議員研修報告……………

日 時：11月18日（木）
11：00～17：00

場 所：吉富フォーユー会館2F
視聴覚室

対 象：吉富町議会議員全員

題 目：「吉富町の財政を質疑する」

講 師：森 裕之 ※2回目
（立命館大学政策科学部 教授）

目 的：自治体財政状況の分析方法を
専門家からの講習で学び、議
員力向上をはかるため。



次回予告

次の定例会の開催は、3月になります。請願、陳情等がありましたら、2月末日までに議会事務局に提出してください。 議会事務局